

研究構想シート		学校名	美郷町立大和小学校
		氏名	野村真由美
A 研究主題 主体的に問題解決し ともに学びを楽しむ子どもの育成 ～子どもの“やってみたい”が続く単元構成の工夫～			
B 研究の目的 大和小の児童の強みである「意欲的に学習に取り組む姿」を最大限に生かし、弱みとなっている「問題を自ら見出す力」をつけるために、問題との出会わせ方や、子ども達の「もっとやってみたい」が続く単元構成を工夫することで、主体的に問題解決を楽しむ児童を育成するため			
C 子どもの実態	E 手立て・内容（研究仮説）		D めざす子どもの姿
	F 検証方法		
	G 研究計画		
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に意欲的に取り組むことができる。 ・既習事項や今までの体験などを結び付けて課題に取り組むことができる。 ・自ら進んで学習に取り組むことができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から問題を見出そうとすることが難しい。 ・問題を解決するときに、比較したり、関係づけたり、条件を変えたり、多面的にもものを見たりしようとするのが難しい。 ・学習してわかったことを自分なりのことばでまとめるのが難しい。 ・社会や自然などの対象と自分がどのように関わっているかを考えて活用することが難しい。 ・よりよい生活を営むために学習してわかったことを生活のなかで使おうと工夫することが難しい。 		<p>単元を通してどんな子どもの姿をめざすのかを明確にして授業に臨むことと、学習対象と子どもの認識・思い・願いとの関係に着目して出会わせ方等の単元構成を工夫することで、児童が自ら問題を見出し、解決に向かって主体的に動き出すことができるだろう。</p>	
<p>理科・家庭科・生活科を中心とした授業研修を全教職員で行う。授業後には、めざす子どもの姿について振り返り、協議をする。授業づくりについて、全教職員で課題を見出し、次の実践に生かしていく。</p> <p>単元の導入に限らず、学習対象との出会わせ方について、子どもの発言やノート等から、めざす子どもの姿になっているかどうかを見直す。</p>		<p><生活科></p> <p>自分の思い・願いをもとに、「やってみたい」「できそうだ」と思う課題を見つけ、「ひと・もの・こと」との関わりを楽しみながら自ら学ぶ子ども</p> <p><家庭科></p> <p>自分や周りの人の生活をよりよくするための課題を見出し、学んだことをつなげたり広げたりすることを楽しみながら自ら学ぶ子ども</p> <p><理科></p> <p>自然事象と進んで関わり、不思議に思ったことから問題を見出し、どんな実験や観察をすればよいかをねばり強く考えることを楽しみながら自ら学ぶ子ども</p>	
<p>校内研究組織を立ち上げ、職員を研究推進部、学力向上部、ICT活用部、学習環境部に分け、全員で研究にあたることのできるような体制を組む。</p> <p><研究授業計画></p> <p>訪問指導：1～2学期 3年理科、2学期 6年家庭科</p> <p>出前講座：夏休み（生活科）、3学期（理科）</p> <p>実践講座：希望者参加</p> <p>美郷町一斉研修：1年生活科、5年家庭科</p> <p>ICT活用公開授業：3・4年体育、支援学級または交流学級での教科</p> <p>中堅研：6年保健体育（健康教育）</p>			